農林水産省　令和４年度
食産業の戦略的海外展開支援委託事業
（ベトナムにおける農産物・食品の品質に関する規格・認証の活用）

令和５年３月

株式会社 JTB

目次

1、　ベトナムにおける農産物・食品の規格・認証制度の活用促進
（１） 分科会（有機認証、GAP）..... 1
（２）ASIAGAP 指導員養成のための研修（第２回）..... 2
（３）有機 JAS 認証審査員育成のための研修 4
（４）食品安全マネジメント研修（鹿児島大学）..... 6
（５） 分科会（有機認証、GAP、FSM）..... 101
（６） ワーキンググループ..... 112

１、 ベトナムにおける農産物・食品の規格・認証制度の活用促進

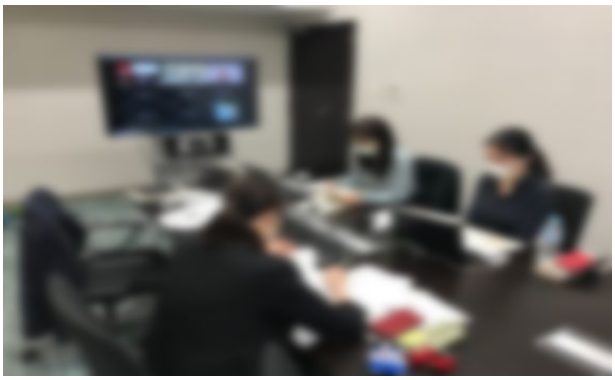
（１）分科会（有機認証、GAP）

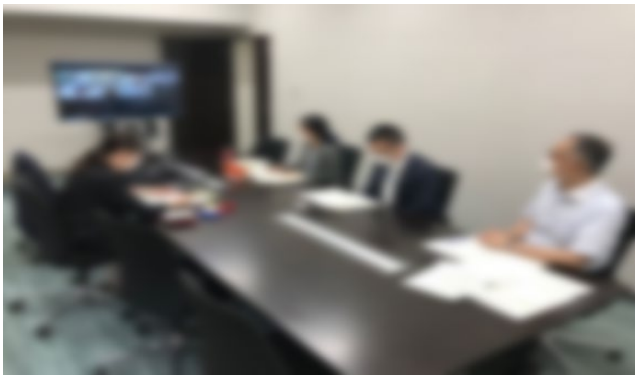
日時：令和４年６月１０日（金）
　　10：00～12：00　有機認証分科会（日本時間）
　　15：00～17：00　GAP 分科会（日本時間）
場所：農林水産省 会議室 / ベトナム農業農村開発省 会議室（テレビ会議形式）
言語：日本語・越語（逐次通訳）

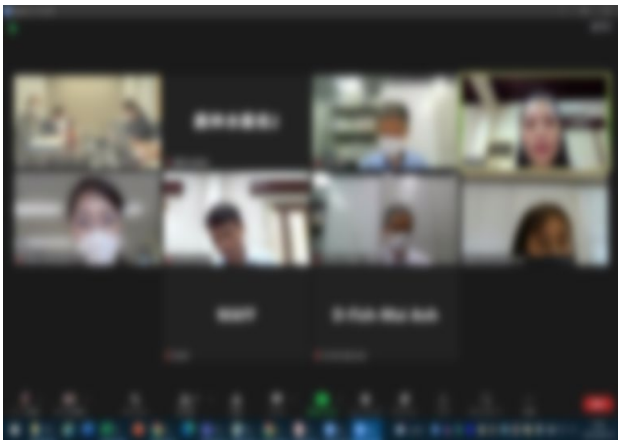
１．概要

各分科会において日本側より2022年度の活動方針について説明し、その後参加者により活動内容についての意見交換や、2022年度に実施予定の研修・セミナーの内容についての議論を行った。

【記録写真】撮影JTB







（２） ASIAGAP 指導員養成のための研修（第２回）

日時：令和 4 年 9 月 20 日（月）10:30～18:00（日本時間）
　　令和 4 年 9 月 21 日（火）10:30～13:30（日本時間）
場所：GAP 総合研究所内会議室（テレビ会議形式）
言語：日本語・越語（逐次通訳）

１．概要

ASIAGAP 指導員の資格取得を目的とし２日間にわたって開催された。昨年度の ASIAGAP 指導員養成のための研修（第１回）に引き続き、同研修生を対象に、第２回研修を行った。両方の研修を修了した者に、ASIAGAP 指導員の資格が与えられる。日本 GAP 協会の協力を得ながら、GAP 総合研究所が研修を主催。ベトナム国内からベトナム国立農業大学の職員や民間の審査会社に勤める社員等合計 19 名がオンラインで受講した。研修は、GFSI、ASIAGAP 章構成、HACCP 等についての講義や質疑応答が実施された。

研修終了後、修了した 19 名には指導員カード・研修合格証が後日郵送にて渡された。

２．実施プログラム

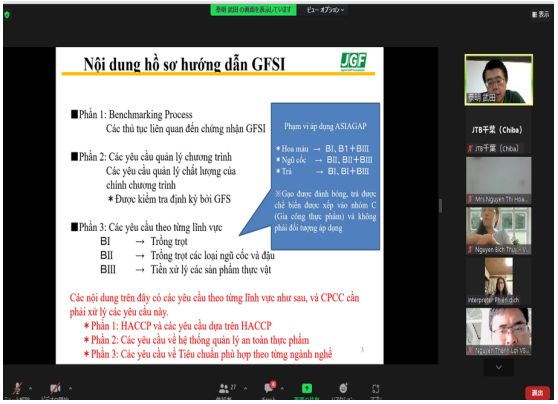
【１日目】

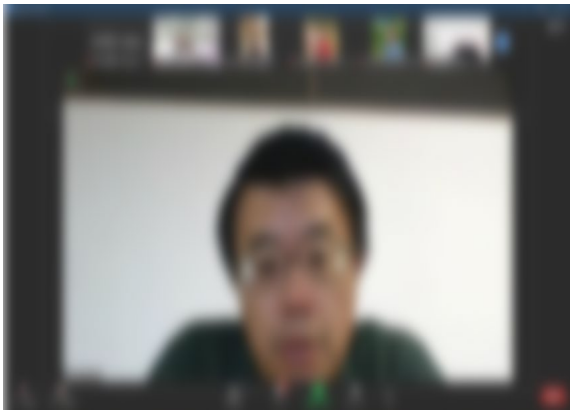
日本時間	ベトナム時間	内容
10:30-10:40	8:30-8:40	開会挨拶等
実践講座		
10:40-13:30	8:40-11:30	1.GFSI について
		2.ASIAGAP 章構成など
		質疑応答
13:30-14:30	11:30-12:30	休憩
14:30-15:15	12:30-13:15	全体像
15:15-15:45	13:15-13:45	3.HACCP について
15:45-16:00	13:45-14:00	休憩
16:00-17:00	14:00-15:00	総合規則について
基準文書の解説		
17:00-18:00	15:00-16:00	1.全体像
		2.農場用　管理点と適合基準の理解
		1.農場管理の見える化
		2.4.2 食品安全文化とは

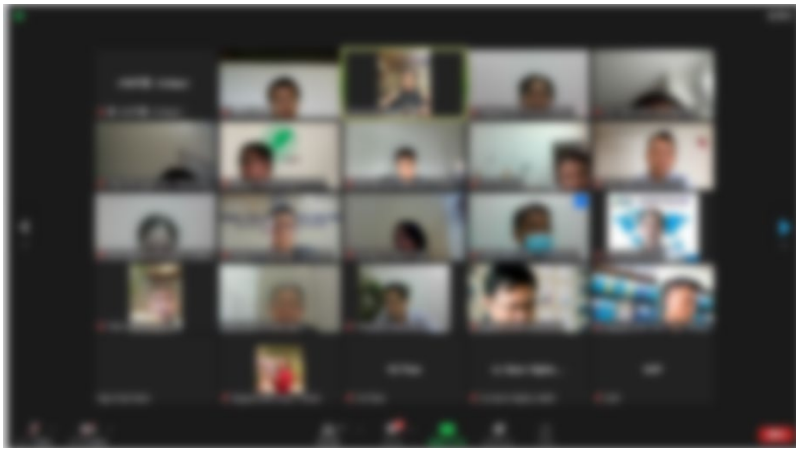
【２日目】

日本時間	ベトナム時間	内容
10:30-13:00	8:30-11:00	3. 計画及び実績評価
		2.4.2 食品安全文化とは
13:00-13:20	11:00-11:20	質疑応答
13:20-13:30	11:20-11:30	閉会挨拶

【記録写真】撮影 JTB


Nội dung hồ sơ hướng dẫn GFSI
JGF
■Phần 1: Benchmarking Process
Các thủ tục liên quan đến chứng nhận GFSI
■Phần 2: Các yêu cầu quản lý chương trình
Các yêu cầu quản lý chất lượng của chính chương trình
★Được kiểm tra định kỳ bởi GFS
■Phần 3: Các yêu cầu theo từng lĩnh vực
BI → Trồng trọt
BII → Trồng trọt các loại ngũ cốc và đậu
BIII → Tiền xử lý các sản phẩm thực vật
Phạm vi áp dụng ASIAGAP
★Hoa màu → BI, BI+BIII
★Ngũ cốc → BII, BI+BIII
★Trà → BI, BI+BIII
※Gạo được đánh bóng, trà được chế biến được xếp vào nhóm C (Gia công thực phẩm) và không phải đối tượng áp dụng
Các nội dung trên đây có các yêu cầu theo từng lĩnh vực như sau, và CPCC cần phải xử lý các yêu cầu này.
★Phần 1: HACCP và các yêu cầu dựa trên HACCP
★Phần 2: Các yêu cầu về hệ thống quản lý an toàn thực phẩm
★Phần 3: Các yêu cầu về Tiêu chuẩn phù hợp theo từng ngành nghề
JTB千葉（Chiba）





（3） 有機 JAS 認証研修

日時：令和４年 10 月 6 日（木）、13 日（木）、19 日（水）
場所：農林水産省 会議室/ ベトナム農業農村開発省 会議室（テレビ会議形式）
言語：日本語・越語（逐次通訳）

１．概要

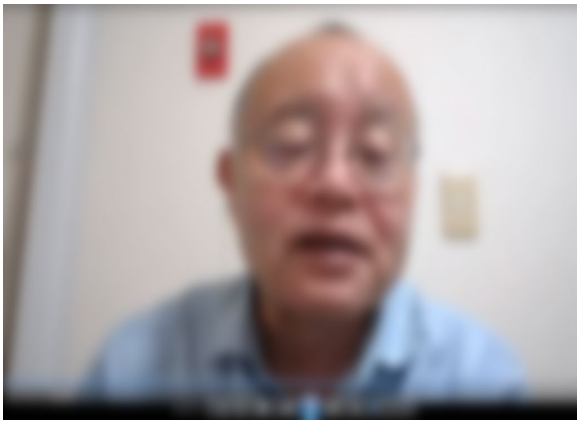
有機 JAS 登録認証機関になることを希望する者、有機 JAS 認証審査員になることを希望する者、有機 JAS 認証取得を考えている者、小売業者、流通業者、輸出業者及び政府機関等を対象とし、有機 JAS 認証審査員育成のための研修を 3 日間にわたって開催した。

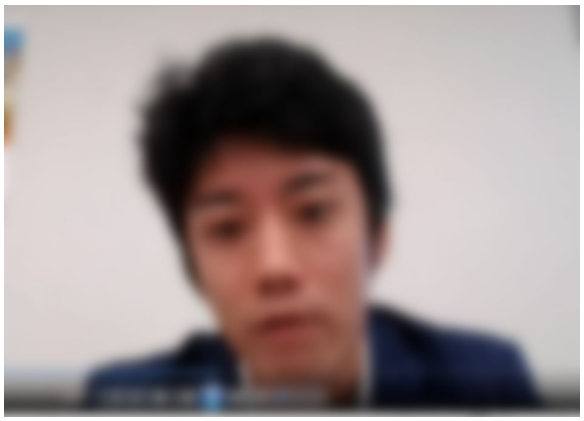
講師は（一社）日本農林規格認証アライアンス、株式会社むそう商事が務めた。研修は JAS 法や有機 JAS 制度の概要についての講義から始まり、2 日目は有機農業用資材の事例についての講義、3 日目は二国間でのベトナムの有機農産物の日本市場での流通方法の取り組みについての講義が行われる等多岐にわたる研修内容となった。

２．実施プログラム

	ベトナム時間	日本時間	内容
1 日目	8:00～8:10	10:00～10:10	開会
	8:10～14:30 （途中質疑応答、昼休憩あり）	10:10～16:30 （途中質疑応答、昼休憩あり）	日本の有機 JAS 規格の解釈
	14:30～15:30	16:30～17:30	質疑応答
2 日目	8:00～14:30 （途中質疑応答、昼休憩あり）	10:00～16:30 （途中質疑応答、昼休憩あり）	JAS 規格に沿った有機農業用資材の事例
	14:30～15:30	16:30～17:30	質疑応答
3 日目	8:00～10:00 （途中休憩あり）	10:00～12:00 （途中休憩あり）	ベトナムの有機農産物の日本市場での流通方法
	10:10～11:10	12:10～13:10	質疑応答
	11:10～11:30	13:10～13:30	閉会

【記録写真】撮影 JTB





（４）JFS-A/B 監査員養成のための研修

実施日時：令和５年１月５日（木）、６日（金）、９日（月）、１１日（水）、１２日（木）
※5 日間、全日 10:30～19:30（日本時間）
実施形式：Zoom によるオンライン講義
使用言語：日本語・越語（逐次通訳）

１．概要

令和５年１月５日、６日、９日、１１日、１２日の５日間にわたり、食品安全、JFS-A/B 規格に関して、日本食品安全マネジメント協会(JFSM)認定の①食品安全基礎研修および②食品監査研修を実施した。

① 食品安全基礎研修について：食品を安全に製造するにあたり、HACCP（Hazard Analysis and Critical Control Point: 危害分析重要管理点）を中心として、GMP（Good Manufacturing Practices：適正製造規範）および FSMS（Food Safety Management System：食品安全マネジメントシステム）を組み合わせて高いレベルで品質管理を行う必要があるが、これについて要求事項を示した日本初の規格である JFS-A/B 規格の構造や特徴を理解し、運用することができるための研修である。JFS-A および B 規格の要求事項として 36 および 46 項目が設定されているが、B 規格は A 規格の内容を包含しているため、B 規格を中心とした研修内容となっている。

② 食品監査研修について：JFS-A/B 規格が、実際の食品工場で確実に運用されているか否かについて、第 3 者（認証）監査を行うことができるスキルを学ぶことを目的とした研修である。監査手法の国際基準である ISO19011 の内容をベースに、JFSM が求める項目を組み合わせた内容で構成されている。

研修は、JFSM 認定の研修を有している鹿児島大学が実施した。JFS-A/B の監査会社として登録されることを希望する５機関に対し、JFSM が求めるオンライン研修の規則に則り、10 名（上限は講師 1 名あたり 20 名）の募集を行い、すべての参加者が PC で確実に接続できる環境であることを条件として参加者を決定した。また、参加者に対しては、事前に上記①および②の講義資料と各種文書のひな型を PDF あるいはマイクロソフトワードあるいはエクセルにて配布するとともに、上位規格である JFS-C 規格のベトナム語バージョン（JFSM のホームページよりダウンロード可能）の確認を事前学習とした。

なお、本研修では、①、②ともにグループワークを実施するため、事前に 5 名ずつのグループに分けたうえで研修を開始した。研修中は常にカメラを ON とすることを徹底し、受講態度も併せて評価の対象とした。

２．実施プログラム

◆食品安全基礎研修：1 月 5 日（木）

挨拶　10:30～
食品安全に関する国内外の状況　10:45～
JFS-B 規格の概要　11:10～
食品衛生に関する微生物の特徴とその管理　11:45～
食品安全マネジメントについて（経営者の責任、その他）　13:45～
昼食休憩　14:20～
適正衛生規範（1 次生産・設備設計デザイン）　15:20～
適正衛生規範（力量とトレーニング）　16:00～
適正衛生規範（メンテナンス、ペストコントロール）　16:30～
適正衛生規範（個人の衛生）　17:00～
適正衛生規範（危害の管理・交差汚染）　17:30～
適正衛生規範（製品情報・消費者の意識、トレーサビリティ等）　17:50～
質疑応答　18:00～

グループワーク（会社設立と HACCP チームの結成）　19:00～
～1 日目終了～

◆食品安全基礎研修：1 月 6 日（金）
引き続きグループワークと発表（会社設立と HACCP チームの結成）10:30～
解説、グループワーク、発表（製品情報の記述、意図する使用方法）　11:30～
解説、グループワーク、発表（フローダイアグラムの作成と現場での確認）　13:00～
昼食休憩　14:00～
解説、グループワーク（ハザード分析、CCP の決定）　15:00～
質疑応答　18:00～
～2 日目終了～

◆食品安全基礎研修：1 月 9 日（月）
グループワーク、発表（ハザード分析、CCP の決定）　10:30～
昼食休憩　14:00～
解説、グループワーク、発表（許容限界の設定）　15:00～
解説、グループワーク、発表（モニタリング手段・手順の設定）　16:20～
解説、グループワーク、発表（是正措置の設定）　17:00～
解説、グループワーク、発表（妥当性の確認、検証手順の設定、記録の種類と保持）17:30～
習熟度テスト　18:30～19:30
～3 日目終了～

◆食品監査研修：1 月 11 日（水）
（食品安全基礎研修で作成した HACCP プランの確認と修正・補強）10:30～
衛生責任者の役割（監査とは）　11:30～
衛生責任者の役割（GFSI の理解）　12：30～
衛生責任者の役割（JFS-B 規格の要求事項の理解）13:00～
質疑応答　13：30～
昼食休憩　14:20～
解説、グループワーク（監査チームの結成）　15：20～
解説、グループワーク（文書監査：HACCP プランの確認と関連資料のレビュー）　16:30～
解説、グループワーク、発表（監査の準備：監査範囲と計画）　18：30～
～4 日目終了～

◆食品監査研修：1 月 12 日（木）
解説、グループワーク（監査チェックリストとその活用）　10：30～
解説、監査ロールプレイ（証拠収集、観察、インタビュー）　11:40～
質疑応答　13:30～
昼食休憩　14:30～
解説、グループワーク（監査報告書の作成、適合・不適合の評価）　15:30～
解説、監査ロールプレイ（クロージングミーテイング）　16:40～
解説、グループワーク、発表（是正措置計画・是正措置報告書の作成）　17:00～
衛生責任者の役割（監査員と被監査者の教育、ISO19011 の理解）17:30～
質疑応答　18:00～
習熟度テスト　18:15～19:15
終了の挨拶　19:15～19：30
～5 日目終了～

【記録写真】鹿児島大学

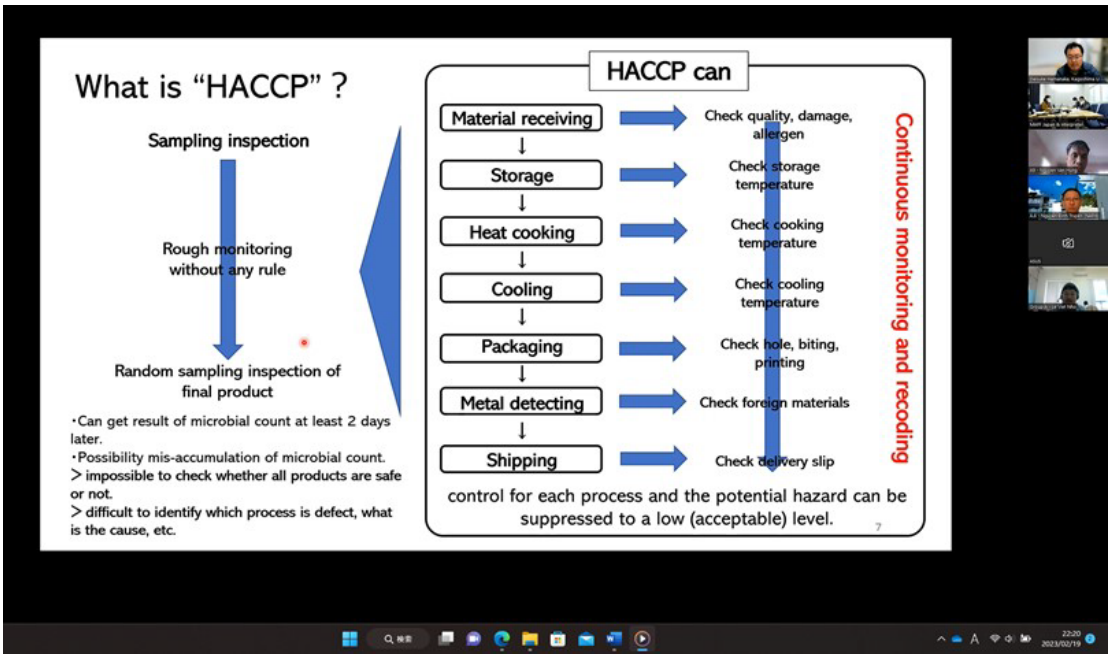


写真１　講義時

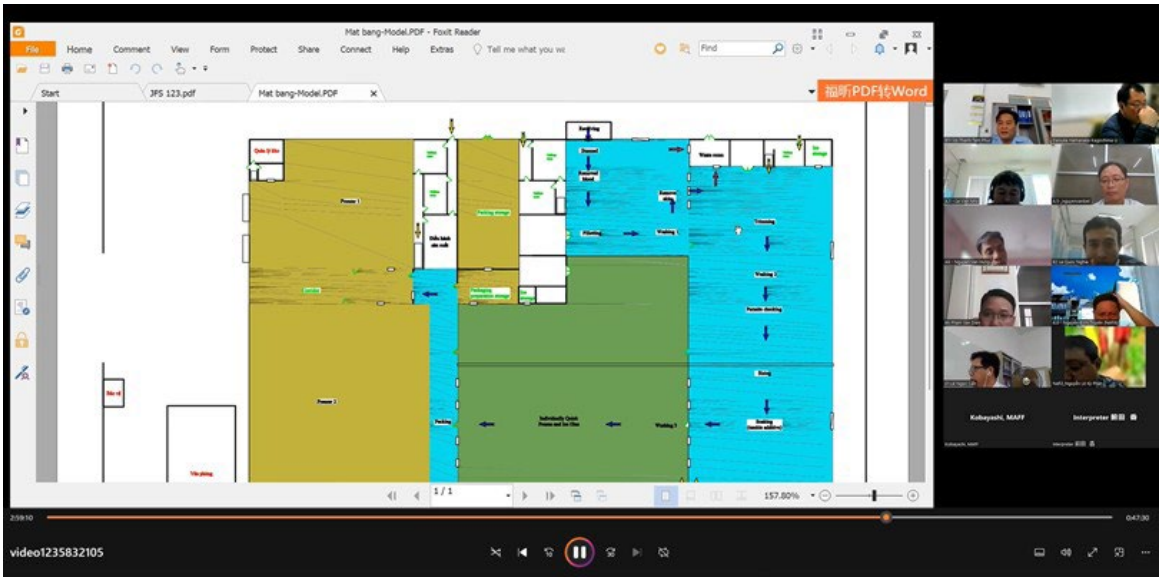


写真２　研修参加者の発表の様子

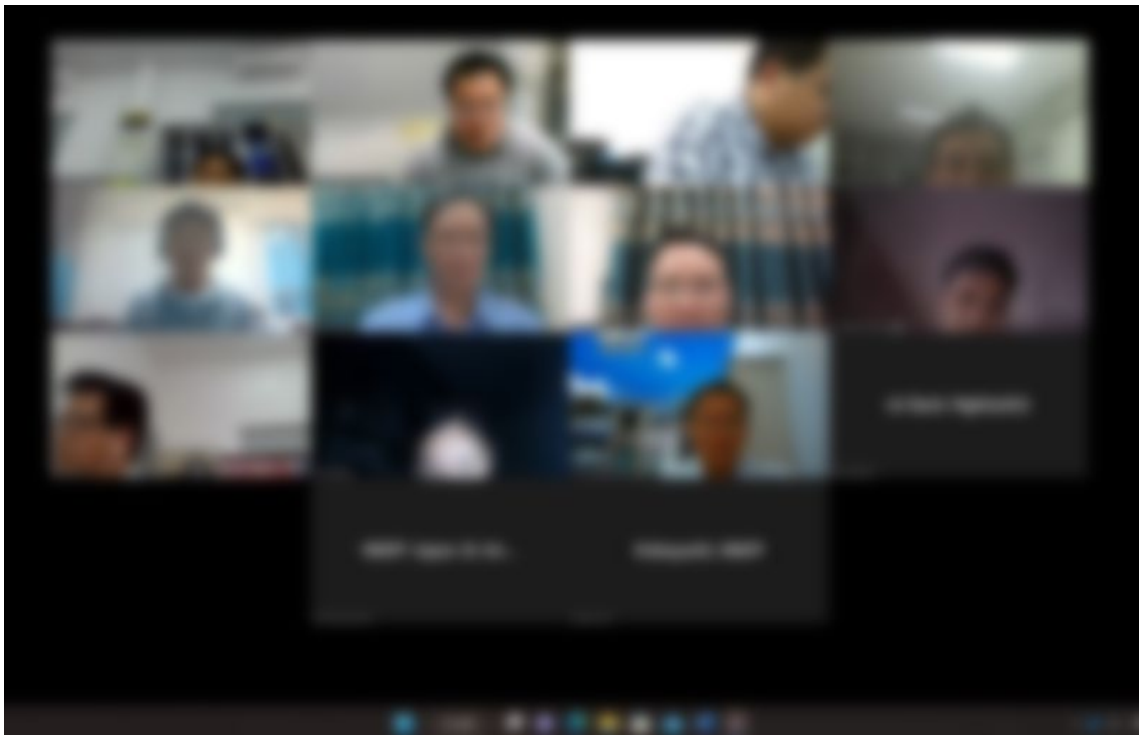


写真３　質疑応答の様子

（５）分科会（有機認証、GAP、FSM）

日時：令和５年２月６日（月）
　　10：00～12：00　有機認証分科会
　　13：00～15：00　GAP 分科会
　　15：30～17：30　FSM 分科会　（日本時間）
場所：農林水産省 会議室 / ベトナム農業農村開発省 会議室（テレビ会議形式）
言語：日本語・越語（逐次通訳）

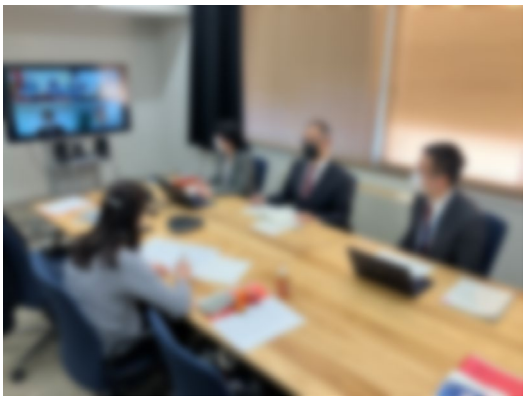
１．概要

各分科会において2022年度の活動報告とレビューが実施された後、次年度の活動計画について意見交換が実施された。2023年度に実施予定の研修・セミナーの内容についての議論を行った。

【記録写真】撮影JTB

有機分科会

GAP分科会



FSM 分科会

（６）ワーキンググループ

日時：令和５年２月８日（水）15：00～17：00（日本時間）
場所：農林水産省 会議室 / ベトナム農業農村開発省 会議室（テレビ会議形式）
言語：日本語・越語（逐次通訳）

１．概要

GAP、FSM、有機認証の３分科会で実施された2022年度の活動報告とレビュー及び2023年度の活動計画について報告が行われた。その後、2023年度の両国の協力の活動方針について確認が行われた。

【記録写真】撮影JTB